



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上林 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 井嶋 正 TEL 06-6401-9421

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,320	△21.8	370	△52.0	446	△44.3	308	△44.2
2020年3月期第3四半期	8,077	1.0	772	24.7	802	26.9	552	26.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 329百万円 (△40.8%) 2020年3月期第3四半期 556百万円 (28.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	195.11	—
2020年3月期第3四半期	349.41	—

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	8,612	5,674	65.6	3,571.20
2020年3月期	9,355	5,404	57.5	3,400.81

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,646百万円 2020年3月期 5,377百万円

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2021年3月期	—	35.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	18.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 5円00銭

3. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお、2020年3月期及び2021年3月期第2四半期については当該株式分割前の1株当たり配当額を記載し、2021年3月期（予想）については、当該株式分割を行った後の1株当たり配当額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△18.3	436	△50.5	516	△44.1	366	△40.7	231.49

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を行った後の株式数で算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	1,602,000株	2020年3月期	1,602,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	20,906株	2020年3月期	20,906株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	1,581,094株	2020年3月期3Q	1,581,094株

（注）当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2020年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については株式分割を行った後の株式数で算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じつつ、段階的に経済活動が再開されたことにより、企業活動や経済活動に持ち直しの動きがみられたものの、同感染症の新規感染者が再び増加していることなどから、依然として先行きの見通せない不透明な状況で推移しております。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新装置、新製品、新商品の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,320百万円（前年同四半期比21.8%減）となりました。損益面におきましては、営業利益は370百万円（同52.0%減）、経常利益は446百万円（同44.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は308百万円（同44.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、プラズマ粉体肉盛工事の受注は増加しましたが、トッププレート工事、アルミダイカスト関連工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が減少したことにより、売上高は4,589百万円（前年同四半期比19.0%減）、セグメント利益は606百万円（同35.5%減）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めましたが、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は334百万円（前年同四半期比15.5%減）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は472百万円（同19.0%減）となり、溶接材料の合計売上高は807百万円（同17.6%減）、セグメント利益は87百万円（同42.8%減）となりました。

③ 環境関連装置

自動車産業用試験装置・検査装置の受注が減少したことにより、売上高は555百万円（前年同四半期比34.5%減）、セグメント利益は94百万円（同16.7%減）となりました。

④ その他

自動車関連のダイカストマシーン用部品の受注が減少したことにより、売上高は368百万円（前年同四半期比37.3%減）、セグメント利益は11百万円（同74.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、8,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ742百万円減少しました。これは、現金及び預金335百万円の増加がありましたが、受取手形及び売掛金712百万円、半成品168百万円の減少が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,012百万円減少しました。これは、短期借入金120百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金555百万円、未払法人税等171百万円、賞与引当金272百万円の減少が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ269百万円増加しました。これは、利益剰余金249百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は65.6%（前連結会計年度末は57.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして現時点におきましては、2020年11月12日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,145,108	2,480,366
受取手形及び売掛金	3,658,164	2,945,737
電子記録債権	362,416	280,747
商品及び製品	656,814	601,474
半成工事	407,911	239,745
原材料及び貯蔵品	100,718	95,639
その他	82,164	161,821
貸倒引当金	△20,581	△21,127
流動資産合計	7,392,717	6,784,405
固定資産		
有形固定資産		
土地	982,280	1,014,129
その他（純額）	518,309	452,375
有形固定資産合計	1,500,590	1,466,504
無形固定資産	41,669	35,322
投資その他の資産	420,528	326,327
固定資産合計	1,962,788	1,828,154
資産合計	9,355,505	8,612,560
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,173,997	1,618,035
短期借入金	60,000	180,000
未払法人税等	171,007	—
賞与引当金	342,433	69,999
工事損失引当金	8,336	10,177
その他	452,259	294,753
流動負債合計	3,208,034	2,172,965
固定負債		
退職給付に係る負債	578,832	604,862
その他	164,256	160,405
固定負債合計	743,088	765,268
負債合計	3,951,123	2,938,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	4,601,620	4,850,818
自己株式	△40,273	△40,273
株主資本合計	5,440,971	5,690,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	11,319
為替換算調整勘定	△1,043	△37
退職給付に係る調整累計額	△63,214	△55,053
その他の包括利益累計額合計	△63,967	△43,772
非支配株主持分	27,377	27,927
純資産合計	5,404,382	5,674,326
負債純資産合計	9,355,505	8,612,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,077,788	6,320,197
売上原価	5,840,711	4,641,774
売上総利益	2,237,076	1,678,422
販売費及び一般管理費	1,465,005	1,307,913
営業利益	772,071	370,508
営業外収益		
受取利息	322	393
受取配当金	2,810	1,243
駐車場収入	2,285	2,048
雇用調整助成金	—	69,072
その他	25,851	4,320
営業外収益合計	31,270	77,077
営業外費用		
支払利息	649	165
駐車場収入原価	681	671
営業外費用合計	1,331	837
経常利益	802,010	446,749
特別利益		
固定資産売却益	60	—
特別利益合計	60	—
特別損失		
固定資産売却損	—	112
固定資産除却損	1,490	130
特別損失合計	1,490	242
税金等調整前四半期純利益	800,580	446,506
法人税、住民税及び事業税	202,650	32,933
法人税等調整額	41,431	105,507
法人税等合計	244,081	138,440
四半期純利益	556,498	308,066
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,048	△423
親会社株主に帰属する四半期純利益	552,450	308,489

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	556,498	308,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,354	11,027
為替換算調整勘定	△2,087	1,980
退職給付に係る調整額	8,301	8,161
その他の包括利益合計	△141	21,168
四半期包括利益	556,357	329,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553,325	328,684
非支配株主に係る四半期包括利益	3,031	550

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響）

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、2021年3月期末には一定の影響が残るものと仮定し、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。